

がくしゅうしょう

えるでい

学習障がい(LD)とは



がくしゅうしょう

学習障がいとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないものの、

- ① 聞く
- ② 話す
- ③ 読む
- ④ 書く
- ⑤ 計算する
- ⑥ 推論する能力

のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態をいいます。

その原因として、中枢神経系に何らかの機能障がいがあると推定されていますが、

視覚障がい、聴覚障がい、知的障がいなどの障がいや、

環境的な要因が直接の原因となるものではありません。

がくしゅうしょう えるでい
学習障がいはLDと
 りやく
略されることもあります。

えるでい
 LDは、Learning Disorders
 または Learning Disabilities
 りやくご
 の略語とされています。

LDにより困難を示す領域は以下のとおりで、

LDはこのうちの一つまたは

複数について著しい困難を示す状態をいいます。

1 聞く能力

他人の話を正しく聞き
 取って、理解すること。



2 話す能力

伝えたいことを相手に伝える
 ように的確に話すこと。



3 読む能力

文章を正確に
 読み、理解すること。



4 書く能力

文字を正確に書くこと。筋道立
 てて文章を作成すること。



5 計算する能力

暗算や筆算をすること。数の概念
 を理解すること。



6 推論する能力

事実を基に結果を予測したり、結果
 から原因を推し量ったりすること。



がくしゅうしょう たいおほうもと てきかく しんだん けんさ ひつよう ひつよう ひとり にんち とくせい
学習障がいには的確な診断・検査が必要で、一人ひとりの認知の特性に

おう えーでいえいちでい ちゅういけつじょ たどうしょう えーえすでい じへい
応じた対応法が求められます。ADHD（注意欠如・多動症）やASD（自閉

しょう ともな ばあい こうりよ はいりよ がくしゅうしえん
スペクトラム症）などを伴う場合には、それらを考慮した配慮、学習支援も

ひつよう かてい がっこう いりょうかんけいしゃ れんけい か
必要となり、家庭・学校・医療関係者の連携が欠かせません。



き はな よ か けいさん すいろん
聞く、話す、読む、書く、計算する、推論することに
つまずきや困難さが見受けられる場合の相談先

こ つうがくさき しょうちゅうがっこう せんせい
● お子さんの通学先の小中学校の先生

いたばしくりつ こ はったつしえん でんわ
● 板橋区立子ども発達支援センター 電話 03-5917-0905

いりょうきかん
● 医療機関



しゅってん
出典

こくりつしょうがいしゃ はったつしょうがいじょうほう しえん
国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センターHP

どくりつぎょうせいほうじん こくりつとくべつしえんきょういくそうごうけんきゅうじょ はったつしょうがいきょういくすいしん
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センターHP

こうせいろうどうしょう せいかつしゅうかんびょうよぼう けんこうじょうほう
厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト

いたばしきふくしぶしょうせいまくか
板橋区福祉部障がい政策課
いたばしきょういくいんかいじむきょうしどうしつ
板橋区教育委員会事務局指導室
いたばしきょういくしえん
板橋区教育支援センター

れいわ ねん がつほつごう
令和6年3月発行